

新評論

2015
10
No.260

発行所 © 新評論 2015年
〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28
TEL.03-3202-7391 FAX.03-3202-5832
http://www.shinhyoron.co.jp
e-mail : shrn@shinhyoron.co.jp
振替 00160-1-113487 価格税抜



「豪華よりも機能」。イケアの広告には、同社のデザイン理念の中でも最も重要なコンセプトが表現されている。

「裕福な人のためにでなく、賢い人のために」。世界最大の家具販売店のデザイン・経営戦略は、福祉先進国の理念と深く結びついていた!

イケアとスウェーデン

福祉国家イメージの文化史

サーラ・クリストフフェション / 太田美幸 訳

◆ジャンル: 北欧福祉国家 / スウェーデン文化 / デザイン

青と黄色に塗られた巨大なイケアストア。シンブルかつデザイン性の高い家具や日用品を低価格で販売する、スウェーデン生まれの家具販売店である。世界二七カ国に三一五店舗を展開するイケアには年間七億人を超える人々が訪れ、総売上高は二八七億ユーロにのぼる。

イケアの魅力は、価格が安いことに加え、「北欧らしさ」を特徴とする商品ラインナップにあると言つてよい。北欧諸国はデザイン先進国であると同時に、人々の生活の安定と暮らしの快適さを追求してきた福祉先進国でもあり、イケアの商品にはこうした北欧のイメージと理念が織り込まれている。さらに、イケアは従業員の働きやすさを重視する企業としても知られている。フラットで風通しのよい企業文化もまた、民主的で平等な福祉国家スウェーデンとのつながりを感じさせる。

本書は、従業員に働きやすい職場を提供し、消費者には快適な暮らしを低価格で提供してきたイケアの文化について、そしてその最大の特徴であるスウェーデンとのつながりについて分析したものである。

国際ブランドとしてのイケアのイメージは、創業者の出身地スウェーデン・スモーランド地方のどのような風土を反映したものとされている。本書の著者はこれをイケアのビジネス戦略として分析し、こうしたイメージがどのように作用してきたのか、社内外でどのように作用してきたのか、そしてイケアの成功とどのように結びついているのかを説明している。さらには、スウェーデンの国家イメージにもイケアが多大な影響を与えてきたこと、両者が相互作用を及ぼしあう関係にあることを指摘し、イケアとスウェーデンがともにつくりあげてきた「イメージ」の歴史を文化史として描き出している。(おおた・みゆき 一橋大学大学院社会学研究科准教授)

ISBN978-4-7948-1019-9

10月上旬刊

四六並製 三三八頁 予二八〇〇円

好評刊 エロジージのかたち 二八〇〇円
(持続可能なデザインへの北歐的哲学)
C・B・ダニエルセン / 伊藤俊介・麻田佳穂子 訳

著者 Sara KRISTOFFERSSON 1972年生まれ。スウェーデン国立美術工芸大学 (Konstfack) 教授。専門は美術史、デザイン史。ジャーナリストとしても活動し、デザイン、建築、ポピュラー文化に関する記事をスウェーデン国内の新聞や雑誌に多数寄稿している。



爆発物探知にあたる米特殊部隊と軍用犬
(2007年 アフガニスタン)

軍事活動が人間以外の動物にもたらす知られざる暴虐の世界。その歴史と現在に目を向け、平和思想の根底にあった人間中心主義を問いなおす。

動物と戦争

真の非暴力へ、《軍事—動物産業》複合体に立ち向かう

A.J・ノチェラ二世 / C・ソルター / J.K.C・ベントリー 編
井上太一 訳

◆ジャンル: 平和学 / 動物福祉 / 暴力論

戦後七〇年を経た日本が軍国化へと退行しつつある現状は、平和をこいねがう人々にとって愕然とすべき事態であるに違いない。戦後世代を導いたものは、原爆と空襲の記憶でも、沖縄やシベリアの経験でも、日本の戦争責任の反省でもなく、抑止論すなわち「恐怖の均衡」の論理だった。かくして、戦地に赴く自衛隊員の犠牲や、敵方の報復攻撃を受ける日本の民間人の犠牲、あるいはごく稀に他国人の犠牲を憂慮する声が、今や方々に飛び交うようになった。

ところで、そうした言論の中、完全に抜け落ちている視点がないだろうか——人間以外の生きものを気づかう視点が。「何、動植物? 多くの人命が危ぶまれている時にか」と、人はそう言うかもしれない。我々は人間中心の思考に慣れ過ぎていてるので、この反応も驚くには当たらない。しかし、命に上下を設けるのは抑圧者の発想ではないだろうか。苦しむ者に等しく手を差し伸べる献身、それが平和主義の原点であるとするならば、「動物なんか」と考える人は平和の理念から最も遠ざかっている。反戦・平和をめ

ざす個々の活動の幅には無論、限界があるが、それにしても、ある集団の犠牲者が(同じ戦争の被害を受けるといふのに)意識にすら上らないでいいのだろうか。自国民のことしか考えない平和論が偏狭であるのと同様、人間以外の生きものを考えない平和論もやはり偏狭であると思う。無視と黙認は、時に最大の暴力になる。

本書は平和学と動物福祉に携わる海外気鋭の活動家、研究者らが、人間以外の生きものの、特に動物に焦点を当て、その戦争被害を様々な角度から照らし出した画期作である。ここに紹介されている事例も世界を覆う暴力の一片鱗に過ぎないことは言うまでもないが、この著作を通して、日本の平和論がより大きな視座に至り、前進を遂げることを願ってやまない。

(いのうえ・たいち 翻訳家)

ISBN 978-4-7948-1021-2
四六上製 予三〇四頁 予二八〇〇円

刊 新装版 **世界の子ども兵**
評 (見えない子どもたち) 三〇〇円
好 R・ブレット&M・マカリン / 渡井理佳子 訳

編者 Anthony J. NOCELLA II 米・ハムライン大学客員教授を務める動物擁護・平和活動家。広く領域横断研究に携わる。 Colin SALTER 豪・ウーロンゴン大学教育設計担当。動物・環境・社会正義運動を研究。 Judy K.C. BENTLEY ニューヨーク州立大学准教授。専門テーマは差別撤廃、障害克服、批判的動物研究。



事件収束後、横浜市の日本本社ロビーは犠牲者に捧げる花で埋めつくされた
(2013年1月29日)

撮影：Toshinori baba)

多大な犠牲を出した事件の考察にカミュの問題作「反抗的人間」を重ねあわせ、あらゆる暴力に抗う「否テロ」の思想を紡ぐ。

アルジェリア人質事件の深層 暴力の連鎖に抗する「否テロ」の思想のために

桃井治郎

◆ジャンル：中東情勢(アルジェリア)/テロリズム/現代思想

二〇一三年一月一六日、北アフリカのアルジェリアで人質拘束事件が発生した。イスラーム武装勢力がアルジェリア南部の天然ガス施設と居住区を襲撃し、同施設で働く関係者を人質にとり立ててこもった事件である。発生から数日後にはアルジェリア軍の介入によって武装集団は鎮圧されたが、その過程で日本人一〇名を含む四〇名の命が失われた。

このような悲劇的事件を前にして、「反テロリズム」を主張するのは、あまりにも当然で、いまさら議論の余地はないと思われるかもしれない。しかし、単に「テロリズムは悪であり、徹底的に根絶すべきだ」という意見を声高に主張するだけでは、問題を理解することにも、再発を防ぐことにもならないであろう。それはむしろ、現実の問題に対する思考を停止させ、問題の根源を見極める努力を放棄することにつながるのではないかと。本書では、こうした問題意識に基づき、アルジェリア人質事件の深層を多面的に探っていく。各章ではそれぞれ、「事件現場でなにが起きたのか(第一章)」、「事件の対応はいかなるものだったのか(第

二章)」、「なぜアルジェリア政府は強硬策をとったのか(第三章)」、「テロリズムを生んだ社会的背景はなにか(第四章)」、「テロリズムの論理とはいかなるものか(第五章)」、「グローバル・テロリズムとはなにか(第六章)」、「テロリズムに抗するたに何をなすべきか(第七章)」を考える。特に第七章では、アルジェリア出身の作家アルベール・カミュの思想を援用しながら、この事件から学ぶべき教訓を考える。

事件からすでに二年半が過ぎた。その後も「テロ」は頻発し、われわれは目まぐるしい日常のなかで凄惨な記憶を風化させがちである。しかし、「安全保障」の名のもとに「対テロ戦争」がなし崩しに正当化されている今日、事件の真相と根源的な要因(「深層」)を見つめ直し、悲劇が二度と起きない未来を思い描くことには重要な意味があると信ずる。本書を通じて、あらゆる暴力に抗う「否テロリズム」の思想を提示できればと思う。

(ももい・じろう)

ISBN978-4-7948-1022-9

四六並製 予三三三頁 二二〇〇円

10月刊

著者 1971年、神奈川県生まれ。中部大学国際関係学部講師。博士(国際関係学)。2008-11年まで在アルジェリア日本国大使館専門調査員。著書に『「バルバリア海賊」の終焉：ウィーン体制の光と影』(風媒社、2015年)ほか。



高知県土佐市のスーパー「サンブラザ」は、バス型移動販売車「ハッピーライナー」を走らせ、地元高齢者らの買い物を支える。車内は食品など生活必需品でいっぱいだ

人口減少・高齢化の中で、「買い物」が難しくなっている。人びとの「普通の生活」を支える持続可能な仕組みを探る。

中山間地域の「買い物弱者」を支える

移動販売・買い物代行・送迎バス・店舗設置

関 満博

◆ジャンル：地域産業／地方自治

中山間地域を訪れると、小さな集落で不思議な思いをさせられることがある。土地の人が「このあたりには、以前は店が数十軒並び、パチンコ屋、映画館、呉服屋、旅館まであった」と話してくれた場所には、今では草むした空間が広がっている。中山間地域で人口減少が進むと商店の維持が難しくなり、最後は「酒店」「理容店」だけになってしまふ。特に二〇〇〇年代半ば以降、最後の拠り所とされていたJ Aの店舗の閉鎖が重なり、問題は一気に顕在化していった。

同じ頃から「買い物難民」「買い物弱者」の問題がクローズアップされてくる。さらに、二〇一四年の「日本創成会議」による「地方消滅」論の提起は、人びとに大きな衝撃を与えた。

そして「現場」に足を踏み入れると、伝統的な移動販売、買い物代行や配食などの新たなサービス、あるいは一〇〇年以上前から共同売店を設置してきた沖縄のケースなどに出会うことになる。その担い手は、住民組織、食品店・食品スーパー、商工会、NPOなどであった。た

だし、いずれも事業採算性の面では厳しく、担い手の高齢化も進み、持続可能性に懸念が生じている。

そのような点を注視し、本書では全国の「買い物弱者」を支える象徴的なケースとして、沖縄県や東日本大震災の被災地をはじめ全国二〇のケースを採り上げた（本編一〇章＋補論一〇本）。そして、それらの事例の意味するものと今後の課題を明示し、持続可能な取り組みを進めていくためのあり方を考察した。

中山間地域の「現場」では、人口が「音を立てて」減少している。住み慣れた地域で、人びとが「普通の生活」をおくっていくためのあり方が問われているのである。

（せき・みつひろ）

ISBN978-4-7948-1020-5 10月刊

A5上製 予三六八頁 五二〇〇円

地域産業の「現場」を行く

誇りと希望と勇気の30話

四訂第一巻 ①1100円 ②1200円

好評 6次産業化と中山間地域の

「日本の未来を先取る高知地域産業の挑戦」

関満博編 五五〇〇円

著者 1948年生まれ。明星大学経済学部教授、一橋大学名誉教授。博士（経済学）。東日本各地の震災復興・産業再生にアドバイザーとして携わる。「沖縄地域産業の未来」「地域産業の「現場」を行く 1～8」「東日本大震災と地域産業復興 I～IV」など著書多数。

三嶋曆とせせらぎのまち

三嶋曆の会編

〔旧曆は生きてゐる〕 千年余の歴史をもつ「三嶋曆」の魅力をまわづくりと絡めてわかりやすく解説。四六並製 二五六頁 一八〇〇円



たった一つを変えるだけ

D・ロビンソン・エド・サンタナ／吉田新一郎訳

〔クラスも教師も自立する「質問づくり」〕 大切な質問づくりのスキルが容易に身につく方法を紹介！四六並製 三〇〇頁 二四〇〇円



政の言葉から読み解く 戦後70年

宇治敏彦

〔歴史から日本の未来が見える〕 ジャーナリストの遺言！政界を踊つた様々な流行語に見る政治の虚実。四六並製 予四〇〇頁 予二八〇〇円



地方創生を考える

諏訪雄三

〔偽薬効果に終わらせないために〕 「地方創生」という言葉に踊らされていけないか？地方の「今」を見る。四六並製 三一二頁 二八〇〇円



経済人間

クリスチャンラヴァル／菊地昌実訳

〔ネオリベラリズムの根底〕 西洋近代化功利主義の思想史の変遷を辿り、現代人の病の核心に迫る。四六並製 四三六頁 三八〇〇円



外需時代の日本産業と中小企業

加藤秀雄

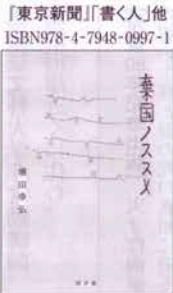
〔半導体製造装置産業と工作機械産業〕 日本のものづくりを牽引してきた二つの生産機械産業の現場報告。A5上製 二六〇頁 三三〇〇円



棄国ノススメ

増田幸弘

〔家族とともに「棄民生活」10年。新たな移民の時代を予感させる、ユニークな「日本脱出記」〕。四六並製 二四八頁 二二〇〇円



砂漠の鷲

シニエゼル／ツルネンマルティ訳

〔アロクの冒険〕 フィンランドから届いた、勇気と友情と誠実さを描くスリル満点の冒険物語。四六並製 二六四頁 一六〇〇円



岡崎雄児

『歌で革命に挑んだ男』

中国国歌作曲者・聶耳と日本

中国国歌は藤沢で誕生

■取材 齊藤大起（神奈川新聞社・文化部記者）

「神奈川新聞」（2015年8月9日付）より

「起て！ 奴隸となることを望まぬ人々よ！」で始まる

中国国歌「義勇軍行進曲」を作曲した聶耳は、1912年に雲南省昆明市で生まれ、来

日中の35年7月17日、藤沢・鶴沼海岸で友人と遊泳中に不

婦の客となった。享年23。長らく中国で「人民の音楽家」として聖人視され、日本人や国民党政府による謀殺説もしばしば語られた。著者は近年の研究成果を踏まえ、人間・聶耳像を新たに説き起こす。

時代は満州事変後。歌詞から分かる通り、中国で高まりつつあった抗日運動を鼓舞す

る内容である。もとは映画の

主題歌だったが、やがて抗日歌曲の代表曲として死後も愛唱され、中国建国の49年、ついに国歌にまで上り詰めた。

13歳当時の作文が引用されている。「学問に励み、音楽に明け暮れたい。その際、外国人の支配はむろんのこと政府の干渉も受けたくない」。

2年後にはこう書いた。「劣悪な社会に対し、私たち青年は闘うべきである。（略）役人たちが私たちの自由を統制していることを知るべきだ」。

こうして反帝国、共産主義に目覚めていく。

そういう自覚的な創作者は

また、国民党政府にも警戒される存在となった。映画会社で左翼映画を手がけている間にも、周囲に逮捕者が出ていた。聶耳は自身に逮捕の手が伸びる寸前に欧州に亡命することを決断、經由地の日本を目指した。抗日歌曲の作者が来日した理由はここにある。

日本滞在は数カ月。著者は謀殺説について、当日の天候や海の状態、彼の体調や持病など多くの状況証拠を調べ上げ、一つの結論を導いた。それは「陰悪な日中関係がもたらした負の

遺産」。そしてこうも語る。謀殺説を乗り越えるために、数カ月ながらも藤沢で過ごした聶耳との思い出を守り続けよう」と。聶耳自身も死の数日前に予想外の感慨を記しているのだ。「日本人とこんなふうに関わり、食事をともにすることになるなんて」

著者は商社勤務、日本国際貿易促進協会を経て現在、東北公益文科大学非常勤講師。鶴沼海岸近くに住む。

『没後80年記念出版』天才作曲家の短い生涯と謎の死の真相に迫る。

ISBN978-4-7948-1009-0
四六並製 292頁 2800円

本を売る

農家の応援団です！

全国で唯一の農業書専門店として千代田区大手町のJAビル内に一九九四年にオープンし、昨年3月に本の街・神保町に移転してきました。

当店では農林漁業関係の本だけでなく、地域づくりや田舎暮らし、環境や自然エネルギー、6次産業化や食文化、農業高校の教科書など、周辺分野も含めた幅広い本を置いています。作家の高橋源一郎氏は、新刊「ぼくらの民主主義なんだぜ」のなかで、「ぼくは、この雑誌（これも農業雑誌のららら）を「日本で唯一の農業書専門の本屋」農文協・農業書センターで見つけた。そして、他にも、不思議なものを。震災・原発・TPP関係の書籍や雑誌ばかりを集めた大きな棚だ。一見、関係なさそうな「震災・原発」と「TPP」が、この小さな本屋の棚では、深い関連の下に展示されている」と紹介してくれています。

当店の特徴は、取次から仕入れる本のほか、自費出版本や全国の

農業団体が発行する本、学会誌など、一般には入手困難な本も取り寄せて販売していることです。いくつかわれ筋を紹介すると、「ポケット版田んぼの生きもの図鑑」(NPO法人生物多様性農業支援センター刊)は水濡れOKの特装紙を使った携帯用図鑑で、毎年市民グループや農協などからたくさんのおまけ注文があります。また、震災後は「ロケットストロブ改訂版」(日本ロケットストロブ普及協会刊)や「自分で出来る打ち抜き井戸の掘り方」(曾我部正美著)といったエネルギーや水の自給に関する本も売れています。これらも含め、本はWeb書店「田舎の本屋さん」という会員制通販システムとリアル書店の二本立てで販売しています。

小さな本屋ですが、最近では農家や農業関係者、著者などによるトークやコンサート、絵画・写真展など、店頭での交流イベントにも力を入れています。この春からは広いペラングで西洋ミツバチの飼育も始めています。ぜひお出かけください。

農文協・農業書センター店長

荒井操

本誌表示価格はすべて税抜です。

書評日誌(5・5~6・8)

書評 紹介 関連記事

- 5・5 ㊦中日新聞「世界遺産マスターが語る高野山」(著者談)
 ㊦人民新聞「学生に貸金を」(下村俊彦)
- 5・8 ㊦神奈川新聞「学生に貸金を」(著者談)
 ㊦中外日報「世界遺産マスターが語る高野山」(森田彩美ノ大垣書店商品部)
- 5・9 ㊦朝日新聞(道内版)「大雪山一神々の遊ぶ庭を読む」(西原義弘氏寄稿)
- 5・10 ㊦ブッククラブ回ニュースレター2015夏号「掌の中の無限」
- 5・16 ㊦毎日新聞(北海道版)「大雪山一神々の遊ぶ庭を読む」
- 5・19 ㊦日経ecomom「棄国ノススメ」(著者夫人・増田聡子氏談)
- 5・21 ㊦北海道新聞「仙台・福住町方式 減災の処方箋」
- 5・30 ㊦図書新聞「棄国ノススメ」

- (塚原 史)
- 5月号 ㊦山と溪谷「大雪山一神々の遊ぶ庭を読む」
 ㊦北海道経済「大雪山一神々の遊ぶ庭を読む」
- 5/中・下 ㊦出版ニュース「私たちの国際学の「学び」」
- 6・6 ㊦Townわたらせ(桐生タイムス社)「仙台・福住町方式 減災の処方箋」
- 6・7 ㊦北海道新聞「学生に貸金を」(著者談)
- 6・8 ㊦岐阜新聞(6/12まで5回、著者連載)「南国港町おばちゃん信金」
 ㊦大分合同新聞「棄国ノススメ」(著者談)

8月の増刷

改訂版 立地ウォーズ
 [企業、地域の成長戦略と「場所のチカラ」]
 川端基夫 3刷

本を読む

大雪山 神々の遊ぶ庭を読む

国体で大雪山に登ったことがあり、また本書に登場する吉田六郎氏、吉田嗣郎氏とは親類にあたり、嗣郎氏から本を見せてもらってすぐに注文した。よくこれほどの文献を調査してまとめたものと感嘆、敬意を表したい。大雪山が、多くの人物の苦心と尽力の末に国立公園となったことがよくわかる。

(横手市 長岩嘉悦 81歳)

ギヴァー 記憶を注ぐ者

今まで得たことのない読後感がありました。ヒトの深いところにある願望(欲望)と人としての正義や倫理が、社会の中で聞き合ふなかで、非常に狭い狭い範囲で生の選択をせざるを得ない状況を生み出してしまふ恐ろしさを感じました。原書も読み始めています。

(郡山市 英語講師 渡辺明美 54歳)

「昔はよかった」と言うけれど

今が苦しいから、大変だから

「昔はよかった」「前の方がよかった」と安易に考えることは大変危険だという話は、アフガニスタンの人々にも共通するようです。タリバンに支配され、アメリカが介入、人々はこれでよくなると希望を持ちますが、うまくいかず、「タリバン時代の方がましだった」と口々に言っていました。私が訪れたときガイドをしてくれた青年は、ロシアに避難していたが、少し治安がよくなったから戻ってきたとのこと。「故国のために死ぬ」と語る彼に、私が「故国のために生きて」と言うと、無言で微笑み返してくれました。今、どうしているか心配です。

(広島市 主婦 川上ひろみ)

好評刊

大雪山 神々の遊ぶ庭を読む

清水敏一 西原義弘 二七〇〇円

ギヴァー 記憶を注ぐ者

ロス・ローリー 藤澤やぶ 一五〇〇円

「昔はよかった」と言うけれど

大倉肇

二〇〇〇円

編集部から

いま最も注目されている人文社会系の書き手、栗原康さんの大学論「学生に賃金を」売れ行き好調です! (韓国語版の出版も決定しました。本書の続刊、平易な語り口で「労働」の不自然さを剔出した「はたらかないで、たらくく食べたい」(タバブックス、ルソウの自然人の「あはれる力」を全力肯定する最新刊「現代暴力論」(角川新書)とともにぜひ併読下さい。この三冊で、「大学(教育)/労働/生の自律」という人生の三大テーマがさらえます)▼映画「ギヴァー 記憶を注ぐ者」渋谷HUMAXシネマ他に絶賛公開中! 「原作を読んではたくなかった」続編も気になった「深い!」ラストシーンに涙した」等々、早くも感動の輪が広がっています。

営業部から

▼二〇一五年度(1月~7月)の都内主要書店の単品売上をレポートいたします。

書店名	大雪山 神々の遊ぶ庭を読む	世界遺産マスタリー が高野山	アパマンも 時代です!	新・受験技法 医学部合格の極意 (完全改訂)	新・受験技法 医学部合格の極意 (完全改訂)	新・受験技法 医学部合格の極意 (完全改訂)	2016年度 新・受験技法
紀伊屋書店新宿本店	18	30	9	4	5	3	
紀伊屋書店新宿南店	13	22	10	4	12	16	
ジュンク堂書店 池袋本店	17	39	16	2	16	4	
丸善丸の内本店	21	33	19	10	6	2	
八重洲ブックセンター本店	2	7	2	9	33	6	
三省堂書店神保町本店	18	33	3	4	1	16	

SBC(新評論ブッククラブ)のご案内

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なく、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に「送付」しております。入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくと、全商品の中からご希望の本を1冊無料送達する特典もござります。ご入会希望の方は小社HPフォームからお送りいただくか、メールまたはハガキにてお名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の「入会確認証」をお送りいたします。

会員は送料無料で各種特典あり!お申し込みを!